



気仙沼 NN 通信



「気仙沼 NN 通信」は、気仙沼地方振興事務所農業農村整備部の広報広聴活動の一環として、主に気仙沼管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせするものです。掲載内容についてお問い合わせなどありましたら、お気軽に当部（農村整備第二班）まで御連絡ください。



【農山漁村地域復興基盤総合整備事業（ほ場整備） ：南三陸地区（廻館工区）での田んぼアート<田植え>】

令和元年5月26日に南三陸地区(廻館工区)にて、今年で3年目の開催となる田んぼアートの田植えが行われました。

昨年は3種類の稲を活用して復興タコ(オクトパス君)を描きましたが、今年は、稲の数を5種類に増やし「モアイ」を描きました。

今回描く「モアイ」は地元の小学校、高等学校が連携してデザインしました。

当日は地元の学校や民間企業などから多くの参加者が集まり、廻館営農組合と協力しながら田植えを行いました。

参加者は、服や肌を土色に染めながら、手作業での田植えを楽しんでいました。



田植えの様子（R元.5.26撮影）



地元の学校がデザインしたモアイ



【中山間地域等直接支払制度 ：気仙沼上廿一地区での援農ボランティア】

過疎化が進む中山間地域の活性化のため、令和元年6月8日に棚田の除草作業を行う援農ボランティア活動が行われました。

この取り組みは中山間地域等直接支払制度に取り組む上廿一3集落協定（気仙沼市）が企画し、当日は仙台市等から7名の援農ボランティアが訪れ、手押し除草機による作業が行われました。参加者からは「大人数で取り組んだおかげで作業がはかどった」との声がありました。



棚田除草作業の様子（R元.6.8撮影）



【 南三陸町入谷地区：水田の生き物観察会 】

令和元年6月25日に、新童子下集落及び南三陸米地産地消推進協議会の主催により水田に生息する生き物観察会が行われました。

入谷小学校の児童8名の他、JA南三陸の関係者等約20名の方が参加しました。

児童達は羽化したてのトンボを熱心に観察したり、発見した生き物について先生に名前を聞いたりして、興味が湧き出るのが抑えきれない様子でした。

採取を終えた後には、講師から水田の生き物の同定方法等を教わり、積極的に地元の生態について学んでいました。

観察会の後には、南三陸米を使用したおにぎりに舌鼓を打ち、大変満足している様子が伺えました。



観察の様子（R元.6.25撮影）



トンボの様子（R元.6.25撮影）



【 気仙沼地方振興事務所：NN新人職員の紹介 】

この度、4月から気仙沼地方振興事務所農業農村整備部農村整備第二班に配属となりました、成田涼（ナリタ リョウ）と申します。出身は青森県五所川原市です。平成31年3月に五所川原農林高校を卒業し、入庁しました。趣味は、体を動かすことですがランニングはとても苦手です。

現在は、農山漁村地域復興基盤総合整備事業南三陸地区「田表工区」を主に担当しています。上司や、先輩方に教わりながら少しずつ業務を覚える毎日です。一日も早く戦力となれるように努力する所存でございます。よろしくお願ひします。





【気仙沼・本吉地域農業農村整備の概要（パンフレット）】

令和元年度から、気仙沼地方振興事務所農業農村整備部の事業概要を記載したパンフレットを配布しております。

パンフレットには当部が気仙沼・本吉地域で取り組んでいる事業の概要の他、気仙沼地方振興事務所に組織改編する以前の志津川出張所（支所）、南三陸支所として取り組んでいた際の事業についても取りまとめてあります。

パンフレットは気仙沼地方振興事務所3階南側の当部入口にて配布しておりますのでお気軽にお越しください。

なお、パンフレットは当部のホームページからも閲覧が可能です。



【水土里の恵みカード】

「水土里の恵みカード」とは、県内各地域の農産物と、農業水利施設または農地整備事業等について紹介するものです。気仙沼地方振興事務所では、このうち「南三陸ねぎ」・「南三陸米ひとめぼれ」の2種類を配布しています。配布場所等については当部ホームページから閲覧が可能です。



宮城県気仙沼地方振興事務所農業農村整備部（編集：農村整備第二班）

〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6

TEL：0226-25-8106

FAX：0226-22-1608

HPのURL：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-m/>



だて正夢